

## 木のぬくもり 学び舎づくりを



別府 静春議員

**別府静春議員** 総合振興計画の前期計画に、宮之城中学校の校舎と屋内運動場の改築が計画されているが、改築年度に時期は、これからの学校の増改築は、生徒が健康でいきいきとした生活が過せる空間づくり、木の持つ木目・木肌・木の香りがもたらす癒しのパワーにより、疲れや、ストレスを起こしにくい、地域材をふんだんに使用した学び舎づくりが重要であると考え。このようななか、県でも、木の持つ「ぬくもり」「やさしさ」などの良さを再認識して

もらうため、「木のぬくもり学び舎づくり事業」により、学校の木造化・内装等の木質化や木製の机・椅子の整備を、県単補助事業（補助率五〇％）として推進している。木のぬくもり学び舎づくりに取り組む考えはないか。

**福留教育長** 宮之城中学校では、校舎が約三〇年、体育館が二八年を築後経過し、安全面が懸念されるので、平成十八年度以降に建設する方向で検討している。

学校は学習の場として、また、生活の一部としての役割を果たしていることから、快適な環境整備を図ることが求められる。増改築にあたっては、地元産材を使い、木の持つ特性が随所に見られる学

び舎づくりに配慮したい。

### 合併特例債で 増改築を

**別府議員** 合併効果を生かすため、老朽化した学校施設の改修について、適切に対処した方がよい

とあるが、合併特例事業等により増改築する計画はないか。

**教育長** 新たな計画はないが、経過年数等を考慮しながら検討していきたい。

### 木製の机・ 椅子の整備は

**別府議員** 学校の机・椅子の整備は、平成九年度から実施されている。今年までに県下九一校、五、八〇〇セットが整備され、児童・生徒・保護者とも大好評であるようだ。地域林業の活性化と木材需要の促進を図るうえから、地域材を活用し、地元建具関連業者に、机・椅子の製作を行わせ、町内産業の育成と経済の活性化を図る考えはないか。

**北村町長** 地元材の活用、教育の一つのあり方として、計画策定段階で、ぜひ検討したい。



木材がふんだんに使われている校舎（町立山崎小学校）